

平成28年度久間田福祉社会事業報告

平成28年度は子ども・子育て新制度2年目で、事務手続きの混乱は多少解消されましたが、平成29年度より社会福祉法人改革が本格的に始まり、その準備に追われております。

平成29年度には、鈴鹿市に認定こども園が3園設立される予定です。また、四日市市は、保育園への入園希望者が増えて待機児童数が全国99位と報道されたことへの対策として、北部、中部、南部で計4園の新設園を認可し、平成29年度以降、順次開園する予定です。全体として少子高齢化の流れは止まらない中での新設園の開園であり、経営という面においては競争が一層激しくなってくると思われます。

しかし、この様な状況の中でも当法人が掲げてきた、子どもの最善の利益を求める保育は何ら色あせることなく、益々重要さを増してくると確信しています。以下に平成28年度の事業報告をいたします。

1. くまだ保育園事業報告

(1) 子どもの最善の利益を求める保育を

① 異年齢児保育

年長児と年中児の異年齢児保育を模索しています。室内・屋外の自由遊びを混合で遊び、また、リズムあそびやプールあそび、英語あそびについても両クラス合同で行う時間を設けています。給食では、年長児と年中児が好きなテーブルに座り、同じテーブルについた子ども同士で会話を楽しみながら食事をしています。帰りの会では、年長児と年中児が一つになって、今日あったことを話し合ったり、発表し合ったりしています。

異年齢児保育の中で、年長児は年中児に遊びのルールや竹馬の乗り方、体の動かし方などを伝え、年中児は年長児に憧れ、難しいことに挑戦する姿が見られました。

また、年長児は毎朝0・1歳児、2歳児、3歳児の部屋へ行き、小さい子と一緒に遊び、お世話をする活動も行いました。これを通じて、年長児はその場に応じた言葉のかけ方、思いやりをもった力加減などを学んでいました。

来年度以降も、子どもたちの様子にあわせた異年齢児保育を行い、また、年少児の巻き込み方についても模索していきたいと考えています。

② しつけ・共育

生活の仕方、生活のリズムやしつけの方法、社会的なルールの伝え方など、基本的な生活習慣について、園のたよりやクラスだより、懇談会、保育参加、運動会、生活発表会などの場で、継続的に保護者へ伝えてきました。来年度以降も、子育ての中で子ども・保護者・職員の全員が共に育っていきけるような園作りを目指し、継続して活動していきたいと考えています。

③ 職員間での情報共有

子どもに対する理解を職員間で共通の物とするため、毎日のミーティングや保育

中の連絡、毎月の職員会議、ミーティングや職員会議の議事録などを通じて情報共有を行ってきました。職員・保護者間での共通理解については、懇談会や保育参加、毎日の送迎時での会話で深めてきました。

④ 食育活動

例年通り給食材料のグループ分け(赤・黄・緑・白)を毎日行いました。また、お米研ぎや野菜の下ごしらえ、ふりかけ作り、きなこ作りなど色々なお手伝いを行いました。通年で衛生的な食事の仕方についても指導を行いました。

本年度は、年長児・年中児が毎朝何を食べてきたか、栄養士が主体となり「あさごはんしらべ」を行いました。

まずは、年度内に延べ3週間程度の期間で、毎朝家庭で何を食べてきたのかを年長児・年中児が自分たちで絵に描き、掲示したところ、偏った朝食を摂っていた子ども徐々にバランスのとれた朝食になっていきました。

次に、年長児のグループで朝ごはんの献立を考えレシピについても絵本などで調べ、最終的には栄養士のサポートの元、自分たちで作成してみる活動を行いました。

また、地域の皆様にご協力頂きながら、お米や野菜(サツマイモ・ジャガイモ・オクラ・ピーマン・ゴーヤ・ヘチマ・プチトマト・キュウリ等)を育てて収穫し、食べる事も行いました。お米は、今年は精米前で4.9kg(前年3.8kg)の収穫となりました。

昔ながらの行事に伴う行事食についても、お月見会、もちつき会、子ども新年会や豆まき会、ひな祭り会等で各行事にあわせた献立で給食を行いました。

⑤ 英会話

本年度も引き続き、亀山在住のイギリス人、アビゲイル・ロイドさん(アビさん)による英語で遊ぶ時間をもうけました。年長児、年中児に年少児も加わり、アビさんと一緒にあそびました。英語の歌を歌いながら体を動かしたり、戸外あそびでアビさんと一緒に体を動かして自由に遊んだりしました。

⑥ 園庭開放

地域の子育てのサポートとして、園庭解放(なかよしデー)を5月から2月までの間、原則月2回、年間17回行い、未就園児累計139名とその保護者累計123名に保育園を利用していただき、子育て相談に応じました。

⑦ 地域活動

5月末から6月にかけて、鈴峰中学校と西陵中学校の中学2年生を、3人ずつ3日間の職場体験を受け入れ、地域の教育支援を行いました。

⑧ 臨床心理士

毎月1度、臨床心理士の鈴木智裕先生に来園いただき、午前中は園内の子ども様子を観察し、午後は臨床心理士の視点から当園の子どもたちがどのように見えたか、また、気になる子や集団への関わり方のアドバイスなどを教えて貰っています。希望する保護者に対しても様々なアドバイスして貰っており、来年度も継続していこうと考えております。

(2) 高花平保育園との交流

- ① くまだ保育園と高花平保育園で給食献立を統一し、くまだ保育園より高花平保育園へ園長と栄養士が月 1 回打合せに出向き、高花平保育園の給食調理員と献立について話し合いました。
- ② 本年度は日程調整がつかず、両園合同研修を行えませんでした。次年度は合同研修を企画し、両園の保育士同士の交流及び研鑽に努めたいと思います。
- ③ 運動会、生活発表会はお互いの保育士がお互いの会を参観し、研修活動としました。

(3) 行事

行事は下表のとおり実施しました。

また、毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定、作品展を行いました。

10月末から12月初めにかけて、試食会(保育参観・給食試食・個人懇談)を行いました。

4月	1日	入園式
5月	14日	わくわく広場・懇談会
6月	2日 16日 22日	歯科検診 歯磨き指導 内科検診
7月	1日 6日 23日	サッカー教室 七夕会 夕涼み会
10月	1日 19日 21日～	運動会 遠足 芋掘り・稲刈り・脱穀
11月	9日 12日	動物園見学(年長児) 竹馬教室(年中児)
12月	15日 22日	クリスマス会 餅つき会
1月	12日	子ども新年会
2月	3日 18日 28日	豆まき会 生活発表会 おわかれ遠足(年長児)
3月	3日 9日 23日(予定) 25日(予定)	ひな祭り会 内科・歯科検診 おわかれ会 卒園式

2. 高花平保育園事業報告

(1) 子どもの最善の利益を求める保育を

① 食育について食べることに興味関心が持てるように食育を保育の中に積極的に取り入れようと努力しました。園庭でミニトマト、イチゴ、ゴーヤ、三尺豆、スナックエンドウなどをつくり、ブドウ、びわ、栗等を収穫しました。また、畑ではサツマイモ、ナス、ピーマン、だいこん、白菜、ブロッコリーなどをつくり、また、収穫した野菜や果物でクッキング体験も行いました。

米作りについては、例年通り、足洗い場を利用した小さな田んぼで行いました。年長児が種まき、田植え、稲刈り、脱穀、もみすり、米作りの各段階を体験しました。収量は昨年より少なかったですが、おにぎりにしてみんなで食べました。

鳥獣被害対策としての小屋掛けとネット掛けサル対策用の煙火を使用したことは、それなりの成果はありました。みかん、びわ、ブドウは半分ほど被害にあったものの、子供たちの口にも少ないながらも入りました。他の作物（野菜）は小屋掛けの所の被害は抑えられました。しかしネットでは鳥の被害は受け、ほとんどつつかれました。2～3か月ごとに食育だよりを配布し食についての取り組みを保護者にも知らせるようにしました。

② よく遊ぶことについて

高花平保育園でさくらんぼリズムを取り入れてから6年目となりました。複雑な運動を行う前の基礎段階として、さくらんぼリズムは有効であると思います。後述する竹馬や、なわとび、鉄棒などの運動あそびにもつながってきていると思います。

また、竹馬づくりについては、3年目となりました。子どもたちは、昨年度、4歳児秋の終わり頃に家族と竹馬をつくり、5歳児6月の終わり頃には竹馬のかさ上げを行い、5歳児10月の運動会で披露をしました。家族と竹馬を作ったことは、子供のやる気を一層促し、ほとんどの4歳児の子が乗れるようになりました。

(2) 地域の子育てのサポート

① 高花平幼稚園との定期的な交流（幼保交流）と高花平地区社会福祉協議会福祉部の交流事業（ふれあい会や高花平小学校1年生を含めた合同ふれあ

い音楽会)等、地域の各団体との交流を行いました。

② さくらんぼ会を通して、地区内外の親子に保育園を利用してもらい、また、子育て相談にも応じました。未就園児累計91名とその保護者累計67名に保育園を利用していただき、子育て相談に応じました。

③ 28年度から始めた一時保育事業は利用者が54名と当初の予想を少し上回り、地域の一時保育の要望に応えました。

(3) くまだ保育園との交流

① くまだ保育園と高花平保育園で給食献立を統一し、くまだ保育園園長とくまだ保育園在籍の栄養士が月1回打合せに来て、園長、主任保育士、食育担当保育士、給食調理員と、食育・献立について話し合いました。

② 本年度も両園合同研修を行えませんでした。次年度は研修の持ち方等検討を加え、両園の保育士が交流しやすくなるように考えたいと思います。

③ 運動会はお互いに両園を見学し、また生活発表会はお互いの保育士がお互いの発表会を参観し、研修活動としました。

(4) 行事

行事は下表のとおり実施しました。

毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行いました。

試食会、保育参加を開催しました。また、保護者懇談会を二度開催しました。

4月	2日 28日	入園式 こどもの日の集い
5月	7日 19日	親子で遊ぼう会 幼保交流(幼稚園)
6月	10日 14日 22日 23日	保健所犬指導 幼保交流(保育園) ふれあい会 プラネタリウム見学(5歳児)

7月	7日	七夕の集い
	12日	幼保交流（小学校プール）
	15日	幼保交流（小学校プール）
	21日	夏まつり
8月		
9月	7日	おじいちゃんおばあちゃんと遊ぶ会
	29日	栗ひろい(5歳児)
10月	8日	運動会
	14日	消防署防災指導
	19日	秋の遠足
	21日	ふれあい会
	30日	地区文化祭（5歳児）
11月	2日	さんま焼き会
	5日	竹馬作り(4歳児)
	9日	動物園見学(5歳児)
	17日	内科、歯科検診
12月	20日	もちつき
	22日	クリスマス会
1月	13日	ふれあい会
2月	3日	豆まき会
	4日	生活発表会
	14日	劇団（風の子）公演
	16日	ふれあい音楽会
	28日	お別れ遠足（5歳児）
3月	3日	ひな祭り会
	16日	内科・歯科検診 新入園児説明会
	17日	お別れ会
	25日	卒園式

平成29年度久間田福祉社会事業計画

保育園で重要なことは、こどもの成長を保障する保育をすることであると考え、引き続き、「地域における児童福祉の核になる」ことを目指した努力していきたいと思えます。

認定こども園については、移行検討を含め、引き続き研究していきます。

1. くまだ保育園事業計画

(1) 共に育ち合う「共育」を目指した保育を

- ① 生活リズム、挨拶など、基本的な生活習慣を保護者・職員が一緒になって子どもに伝え合い、子育ての中で子ども・保護者・職員の全員が共に育っていけるような園作りを目指して保育していく。
- ② 異年齢での関わりを多く持ち、子ども同士で育ち合うような保育環境を整える。
- ③ 子どもに対する理解を、職員間、また、職員・保護者間で共通のものとし、子どもへの一貫した対応を行い、健やかな育ちを保障していく。
- ④ 食育活動として栄養士とともに、「早寝、早起き、朝ご飯、朝うんち」をテーマに、子ども達の生活リズムの見直しから、最終的には自分で朝ご飯を作れる子どもを目指した食育活動に取り組む。
- ⑤ 鈴鹿市5歳児健診モデル園として、鈴鹿市内のすべての5歳児の様子を観察し小学校等への接続を確実にする活動の先行実証をする事となったため、畑囁託医、鈴木臨床心理士とともに、対応していく。

(2) 地域の子育てのサポート

- ① 園庭開放(なかよしデー)を毎月第2、第4水曜日に行い、地域の子育て相談についてもその場で受け付ける。
- ② 一時保育は自主事業として行っていく。

(3) 高花平保育園との交流

- ① 高花平保育園と給食献立を統一し、食育の浸透を図っていく。
- ② 互いの職員が互いの保育現場を見学する研修を企画するなど両施設の職員間の交流を増やしていく。

(4) 環境の整備

- ① 園舎設備や遊具の老朽化への対応を行う。
- ② 園庭での遊びがより発展するように園庭を改造していく。

(5) 行事予定

- ① 毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定、作品展を行う。
- ② 10月、11月は試食会、保育参観、個人懇談を行う。
- ③ その他行事予定を下表に示す。

4月	入園式
5月	わくわく広場・懇談会
6月	歯科検診 歯磨き講習会 内科検診
7月	七夕会 夕涼み会
8月	
9月	
10月	運動会 遠足
11月	東山動物園見学(5歳児) 竹馬教室(4歳児)
12月	餅つき会 クリスマス会
1月	子ども新年会
2月	豆まき会 生活発表会
3月	ひな祭り会 内科検診 おわかれ遠足 お別れ会 卒園式

2. 高花平保育園事業計画

四日市市の幼稚園統廃合計画の中で、高花平幼稚園を廃園し、高花平保育園と統合するという方向性が謳われている事を踏まえ、どのような提案が出来るか検討したいと思います。

- (1) 子どもの最善の利益を求める保育を共に育ち合う「共育」を目指した保育を生活リズム、挨拶など、基本的な生活習慣を保護者・職員が一緒になって子どもに伝え合い、子育ての中で子ども・保護者・職員の全員が共に育っていけるような園作りを目指して保育していく。
- (2) 異年齢での関わりを多く持ち、子ども同士で育ち合うような保育環境を整える。
- (3) 子どもに対する理解を、職員間、また、職員・保護者間で共通のものとし、子どもへの一貫した対応を行い、健やかな育ちを保障していく。
- (4) 食育活動として栄養士とともに、子ども達の生活リズムの見直しから、最終的には自分で朝ご飯を作れる子どもを目指した食育活動に取り組む。
- (5) 地域の子育てのサポート
 - ・幼稚園、地区社協、地区自治会との交流を実施する。
 - ・園庭開放(さくらんぼ会)第2、4木曜日。このとき、子育て相談も受け付ける。
 - ・一時保育事業を実施する。
 - ・くまだ保育園と給食献立を統一し、食育の浸透を図っていく。
- (6) 共通の研修を企画するなど両施設の職員間の交流を増やしていく。
 - ・子どもの発達に合わせた保育環境を整えられるように研修をし、実践に努める。
 - ・子どもに対する理解を職員、保護者で共通のものとしてできるように努め、子どもの健やかな育ちを保障する。
 - ・食べることに興味関心が持てるように食育を保育の中に積極的に取り入れる。
 - ・共通の研修を企画するなど両施設の職員間の交流を増やしていく。
- (7) 環境の整備
 - ・木造園舎の老朽化が進んでいるため、適宜修繕を行い、子どもたちの活動に悪影響を及ぼさないよう努める。
- (8) 行事予定
 - ① 毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行う。
 - ② 試食会、保育参観、保護者懇談会の開催。
 - ③ その他行事予定を以下の表に示す。

4月	入園式
5月	こどもの日の集い 親子で遊ぼう会
6月	プラネタリウム見学(5歳児) ふれあい会
7月	七夕の集い 夏まつり
8月	
9月	じいちゃん、おばあちゃんと遊ぶ会

	栗拾い(5歳児)
10月	運動会 秋の遠足 消防署防災指導
11月	竹馬教室(4歳児) 東山動物園見学(5歳児) サンマ焼き会 内科歯科検診
12月	もちつき会 クリスマス会
1月	ふれあい会
2月	豆まき会 生活発表会 劇団公演 ふれあい音楽会(4, 5歳児) .おわかれ遠足(5歳児)
3月	ひな祭り会 おわかれ会 内科歯科検診・新入園児説明会 卒園式